

2020年4月1日

## 挨拶は心を和やかにする最良のコミュニケーション

社外監査役

堀口基次

車を運転していて、信号がない横断歩道を渡ろうとしている人がいたら、停車しますか？

過日、自宅近くを散歩して、何回か信号がない横断歩道の手前で待っていると止まらないで走っていく車が多いことに気がきました。交通ルールでは歩行者を優先するのが「正解」ですが、実際にはあまり守られていないようです。

過日ある新聞を読んでいましたら「日々の生活から心育んで」という次の記事が掲載されていました。

([昨年](#)の日本自動車連盟(JAF)の調査によると信号がない横断歩道で実際に停止した車は全国平均で17.1%、長野県では68.6%と47都道府県のうち断トツの1位。JAFは2016年から調査を行っているが、長野県は毎年トップである。

長野県の運転手が横断歩道で停車する理由として、よく挙げられるのが「道を渡った人が運転手に対してお辞儀をするから」というものです。この習慣は、長野県内の小中学校で100年以上前から綿々と続く「[全人教育](#)」の影響が大きい。知識や技能だけでなく、心や人格を育てることを目指す取り組みで、特に挨拶と清掃を重視しています。

この記事を読んでそういえば長野県で車を運転している時にお辞儀をされたことがあったことを思い出しました。横断歩道を渡ったのは小学生だったと思いますが、横断歩道を渡りきると帽子を取って頭を下げ、声は聞こえませんでした。たぶん「ありがとうございました」といっているようでした。

この光景を思い出し、挨拶というのはお互い気持ち良く、心穏やかに、豊かにしてくれるものだなと痛感しました。

実業家であり、作家でも教師でもあるデーブル・カーネギーの名言に

「人に好感を持たれたければ、誰に対しても挨拶をすることだ。挨拶ほど簡単でたやすいコミュニケーション方法はない」

挨拶で得られる6つの効果として、次のことが言われています。

1. 大きな声であいさつすると気持ちがいい
2. 笑顔になる機会が増える
3. 相手からの印象が良くなり、人間関係も良くなる
4. 常識のある人という評価を得られる
5. 挨拶から会話が始まる
6. 思い立ったら今すぐに始められる

挨拶は人間関係を潤滑にしたり、自分の気持ちを向上させたり、笑顔にしてくれたりとメリットしかありません。リスクは全くなし、長期的に見れば得られるものはたくさんあります。

もしまだできていないと思ったら、すぐにも実践されるようお勧めします。そして、挨拶は日々継続することだと思えます。続けようとする意識が、ステキな挨拶ができる人に変えてくれます。